

ストーブの保守

5. 燃料ハイトンを洗い流します。

燃料ハイトンからケータージェルを取り外します。

ケータージェルが蓄く外れやすい場合は、一般的な高圧洗浄機を使ってゆるめるとかき取れます。

(CRJ、ボブキャット、オールドマン)

ケータージェルをきれいに拭き取ります。

燃料ハイトンにケータージェルを再度しっかりとケータージェルを挿入し、キャップを燃料ハイトンに挿入し、キャップを締めます。

15. 回ボルトに燃料ボルトに圧力を加えます。

16. 燃料ハイトンを締め、燃料ハイトンに圧力を加えます。

17. 燃料ハイトンを締め、燃料ハイトンに圧力を加えます。

18. 燃料ハイトンを締め、燃料ハイトンに圧力を加えます。

19. 燃料ハイトンを締め、燃料ハイトンに圧力を加えます。

20. 燃料ハイトンを締め、燃料ハイトンに圧力を加えます。

ジェネレーターと燃料ボルトの広域クリーニング

1. フレアスプレッダーを外します。

2. ジェット&ケータージェルを洗い、ジェットのボルトをゆすぶります。

3. ジェットとケータージェルを外します。

4. ジェットの開口部をジェットクリーニングブラシを優しく拭き取ります。

ジェットのボルトをゆすぶります。

ジェネレーターと燃料ボルトの広域クリーニング

1. ジェットと燃料ボルトの広域クリーニング

2. ジェットと燃料ボルトの広域クリーニング

3. ジェットと燃料ボルトの広域クリーニング

4. ジェットと燃料ボルトの広域クリーニング

5. ジェットと燃料ボルトの広域クリーニング

ストーブが作動する仕組み

MSR® ストーブは、極度の状況においても高い信頼性を発揮する商品として独自にデザインおよび設計されています。MSR の青い炎は、高性能を示すシンボルであり、世界中で認められています。

ストーブの操作準備として、プレヒートまたは“プライミング”を行い、ジェネレーターチューブを最適な操作温度まで熱する必要があります。プレヒートを行うには、少量の燃料をバーナーカップに流し込み、燃料に点火してから、炎を約 2 分間燃やします。ジェネレーターチューブが加熱されると、加圧された液体燃料がチューブを通り、気化されるかまたはガス状態に変わります。ガスがバーナーカップ中を通過する際、酸素と混合し、熱く青い炎で燃え始めます。すると、フレイムスプレッダーが炎を保ち、炎を広げることで、熱が調理器具上に集中します。

ジェネレーターチューブ

フレイムスプレッダー

バーナーカップ

空気

空気

危険

一酸化炭素、火災、および爆発の危険

ストーブは酸素を消費します。換気の悪い場所で使用すると、一酸化炭素中毒や死に至る可能性があります。屋外での使用のみに限定されます。テント、車、家、または換気の悪い場所ではストーブを使用しないでください。

このストーブは、引火性の高い燃料を使用します。燃料が漏れると、簡単に発火し、火事、重度のやけど、物的損害、身体への損傷、および死亡に至る可能性があります。燃料が漏れているストーブを使用しないでください。

このストーブは、密封された燃料ボトルを使用します。この燃料ボトルは極度の熱にさらされると、爆発する可能性があります。爆発が発生すると、重度のやけど、物的損害、身体への損傷、および死亡に至る可能性があります。燃料ボトルをストーブバーナーやその他の熱源に近づけないでください。

ストーブを使用する前に必ずこのマニュアルの指示と警告をすべて読んで理解し、それに従ってください。

これらの警告および指示に従わなかった場合、物的損害、重傷、または死亡に至る危険があります。

詳しい指示については、本マニュアル内をご覧ください。

警告

このマニュアルに記載された範囲を超えて、ストーブまたはストーブを分解しないでください。また、ストーブまたはストーブを改造しないでください。XGK EX の純正部品のみを使用してください。

1. コントロールバルブのチャックを 2 回反時計回りに回してゆるめます。
2. コントロールバルブを 6 回反時計回りに回してゆるめます。
3. コントロールバルブのチャックを完全にゆるめます。
4. オリフを調整します。
5. 調整している場合はオリフを交換します。
6. コントロールバルブを取り外します。
7. コントロールバルブを取り外します。
8. コントロールバルブを取り外します。
9. コントロールバルブを取り外します。
10. コントロールバルブを取り外します。
11. コントロールバルブを取り外します。
12. コントロールバルブを取り外します。
13. コントロールバルブを取り外します。
14. コントロールバルブを取り外します。
15. コントロールバルブを取り外します。
16. コントロールバルブを取り外します。
17. コントロールバルブを取り外します。
18. コントロールバルブを取り外します。
19. コントロールバルブを取り外します。
20. コントロールバルブを取り外します。

ストーブの検査と交換

1. フレイムスプレッダーを外します。
2. 燃料キャップを慎重に外します。
3. オリフを調整します。
4. オリフを交換します。
5. オリフを取り外します。
6. オリフを取り外します。
7. オリフを取り外します。
8. オリフを取り外します。
9. オリフを取り外します。
10. オリフを取り外します。
11. オリフを取り外します。
12. オリフを取り外します。
13. オリフを取り外します。
14. オリフを取り外します。
15. オリフを取り外します。
16. オリフを取り外します。
17. オリフを取り外します。
18. オリフを取り外します。
19. オリフを取り外します。
20. オリフを取り外します。

限定生涯保証/救済措置および責任の制限

アメリカ合衆国およびカナダ

制限保証範囲 Cascade Designs, Inc. (「Cascade」) は、本製品が材料と仕上がりにおいて欠陥がないことを保証します。また、規定の使用および保守条件のもと製品寿命の間は保証を行います。本保証は、以下に該当するいかなる Cascade 製品も範囲外とし、適用されません。[i] 改造されたり、製品設計に沿わない目的で使用された場合、[ii] 不適切な保守が行われた場合、[iii] 製品に関する指示または警告に従わなかった場合、[iv] 誤用、不注意、または事故を原因とする場合、[v] ユーザーが製品に関する指示および警告に従わなかった場合。保証期間中において、本保証の範囲とされる、あるいは Cascade またはそのエージェントにより材料または仕上がりにおいて欠陥が認められた購入当初のすべての部品が、Cascade または認定されたエージェントの選択により、修理または交換の対象となります。Cascade は、製造ラインから製造を中止されたすべての製品を、価値および機能が同等である新しい製品と交換する権利を保有します。交換対象となった製品は、Cascade が所有するものとします。

上記に定める制限保証を例外とし、準拠法により最大限認められる範囲内において、Cascade、その関係会社、およびそのサプライヤーは、明示的にも黙示的にも保証を行わないものとし、また本製品に関して明示的、黙示的、制定法であることを問わず、すべての保証、義務、および条件に対し一切責任を負わないものとします。これは、商品性、潜在している欠陥に対する保証、特定の目的への適合性、または説明の一致に関連するすべての黙示的保証を含み、それに限定されるものではありません。

保証サービス 本保証のサービスを受けるには、Cascade 製品を認定された Cascade 商品取扱店へお持ちいただく必要があります。限定保証の返金サービスに関する詳細については、www.msrgear.com にアクセスしてください。合衆国およびカナダにおいては、電話による保証サービスを受けることができます。電話：1-800-531-9531 [月曜から金曜、太平洋夏時間 8:00から4:30まで] Cascade へ商品を返送する際にかかる発送取扱手数料、および Cascade から本保証の対象となる購入者へ商品を返送する際にかかる発送取扱手数料は、購入者が負担するものとします。

救済の制限 上記に記載される限定保証の違反があった場合、Cascade またはその認定されたエージェントには Cascade の選択により故障商品の修理または交換を行う義務のみがあります。欠陥、異常、またはその他の故障について書面にて Cascade に通知が行われ、またはその欠陥、異常、またはその他の故障を証明する努力が妥当な回数行われ、さらに任意の救済がその本来の目的を果たせない場合、Cascade は販売された本商品について実際に Cascade に支払われた購入金額の返金を行うものとします。返金を Cascade の責任限度額とします。上記の救済は、理論に基づいたものであるか否かに関わらず、契約、保証違反、無過失責任、過失責任、またはその他の含む不法行為のいずれにより生ずるかを問わず、CASCADE、その関係会社、およびそのサプライヤーに対して購入者もつ唯一の排他的な救済です。

責任の制限 すべての場合において、Cascade、その関係会社、およびそのサプライヤーがもつ責任限度は、直接的損害に制限されるものとします。製品に対する当初の購入価格のみに制限されるものとします。準拠法により最大限認められる範囲内において、Cascade、その関係会社、およびそのサプライヤーは、いかなる理由によっても引き起こされた偶発的、特殊な、間接的、または結果的またはその他の損害に対し、明示的に一切責任を負わないものとし、いかなる責任も除外するものとします。この除外は、損害の追及が行われる可能性のあるすべての法的理論に適用されるものとします。この除外および制限は、任意の救済がその本来の目的を果たせない場合にも適用されるものとします。

本保証により与えられる特定の法律権利の他、あなたは州毎に異なるその他の権利も有します。

Cascade 製品に関するすべての使用、安全、操作、および保守上の指示を常に注意して参照し、それらに従ってください。

欧州連合におけるお客様の法的権利は、適用されません。

屋外での使用のみに限定されます。

製品サービスおよび情報に関するお問い合わせ先

Cascade Designs, Inc.
4000 First Avenue South, Seattle, WA 98134 U.S.A.
電話: 800.531.9531 または 206.505.9500
www.msrgear.com

インストラクション マニュアル

MSR
MOUNTAIN SAFETY RESEARCH®

JP

XGK EX™

119324-1

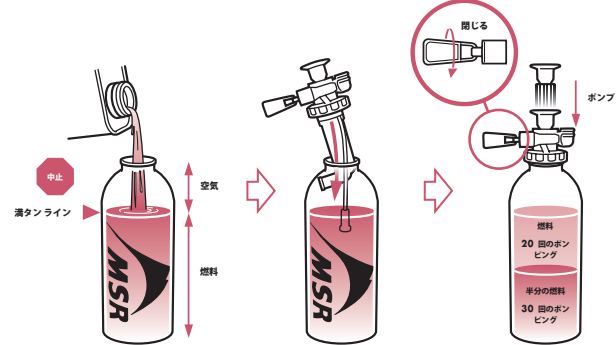
XGK EX™ 操作手順

ストーブを使用する前に必ずこのマニュアルの指示と警告をすべて読んで理解し、それに従ってください。

1 燃料ボトルの準備

XGK EX は、様々な燃料を燃やせます。燃料についてをご覧ください。

- 燃料ボトルの満タンラインを超えないでください。燃料膨張のために、空気スペースが必要です。
- 燃料ボトルにポンプを挿入し、しっかりと締めてください。
- コントロールバルブを閉じ、フランジャーをポンプします。燃料ボトルの中身が少ない場合、さらにポンプし、圧力を加える必要があります。

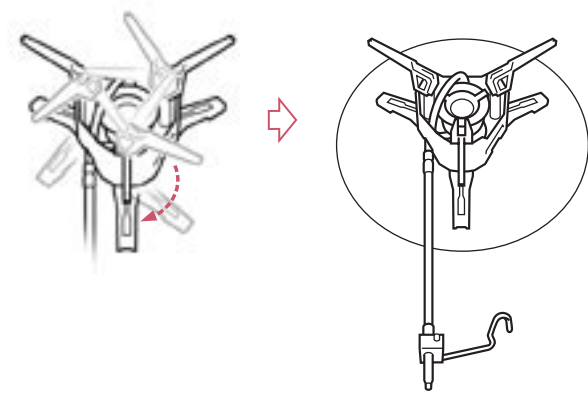


警告

燃料ボトルは、MSR® 燃料ボトル以外を使用しないでください。MSR 燃料ボトル以外の燃料ボトルを使用すると、燃料が漏れ、火災の発生およびけがに至る可能性があります。ストーブの周辺に子供を近づけないでください。また、燃焼しているストーブや熱いストーブを置いて離れないでください。

2 ストーブのセットアップ

- ストーブのレッグと五徳を回転させます。
- ストーブを熱反射板の中央の上に置きます。

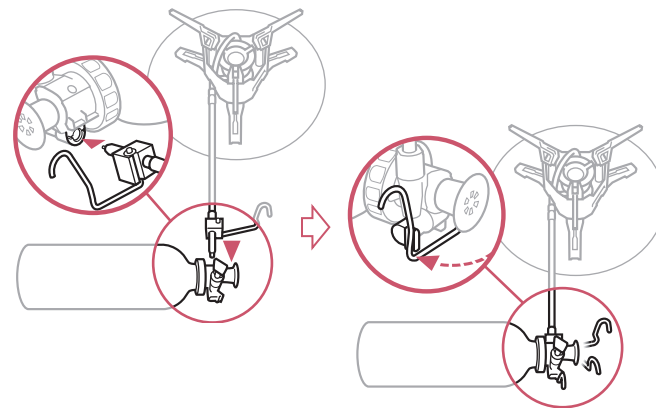


警告

ストーブは、可燃性の物質に発火する可能性があります。可燃性の物質は、燃焼しているストーブの上部および周辺から少なくとも4フィート離してください。ストーブは、調理や湯沸し以外の目的では使用しないでください。その他の用途には絶対には使用しないでください。温度が-24℃ (-10°F) 以下である場合、Oリングは硬くなり、燃料漏れする可能性があります。氷点下の状態で使用する場合は、細心の注意を払ってください。

3 ストーブとポンプの接続

- 燃料パイプをポンプに差し込みます。燃料ボトルを横向きにして置き、コントロールバルブは上向きにします。
- キャッチアームを燃料ポンプの溝にしっかりと固定します。安全性確保のため、燃料パイプをまっすぐに保ってください。

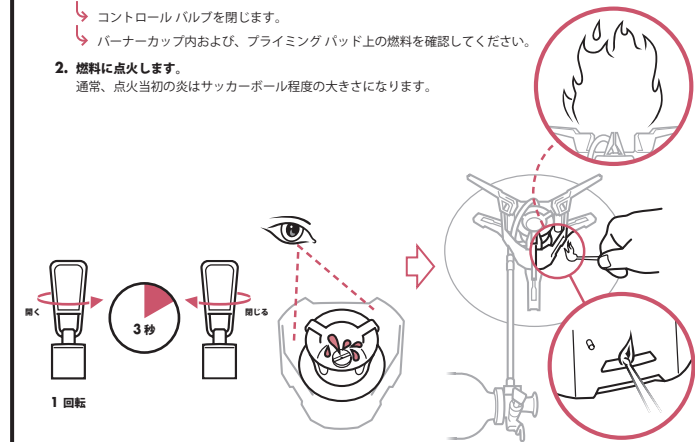


警告

燃料がこぼれていたり漏れたりしている場合、発火・やけどに至る可能性があります。ご使用の度に、燃料ボトル、ポンプ、燃料パイプ、およびバーナーに燃料が付着していないか確認してください。燃料の付着、燃料臭を発見した場合は、ストーブに点火しないでください。トラブルシューティングをご覧ください。燃料漏れ、発火、やけどに至る恐れがありますので、ストーブの使用時に燃料パイプ、ポンプ、または燃料ボトルを外さないでください。

4 ストーブのプレヒート

- 大きじ 2 分の 1 の燃料を流し込みます。コントロールバルブを 1 回転させて開き、燃料が流れるまで 3 秒間待ちます。コントロールバルブを閉じます。バーナーカップ内および、プライミングパッド上の燃料を確認してください。
- 燃料に点火します。通常、点火当初の炎はサッカーボール程度の大きさになります。

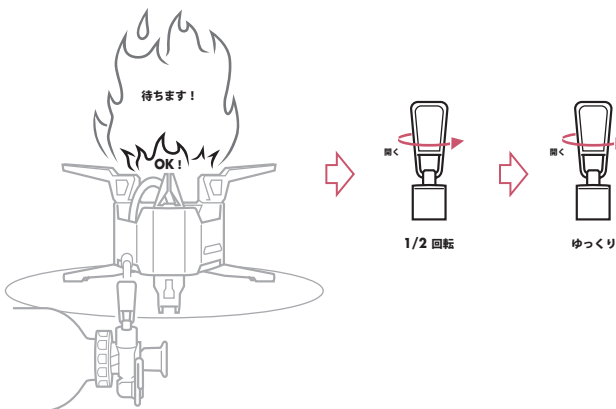


警告

燃料がこぼれていたり漏れたりしている場合、発火・やけどに至る可能性があります。点火する前に、燃料ボトル、ポンプ、燃料パイプ部分に燃料が付着していないか、確認してください。燃料の付着、燃料臭を発見した場合は、ストーブに点火しないでください。トラブルシューティングをご覧ください。ストーブの点火中、またはストーブの燃焼中に、頭や体がストーブの上にこないようにしてください。プレヒート中に燃料を使用しすぎないでください。

5 ストーブの点火

- プレヒートの炎が小さくなるまで待ちます。
- 1/2 回転まわしてバルブを開き、青く安定した炎になるまで待ちます。
- コントロールバルブをゆっくりと開きます。

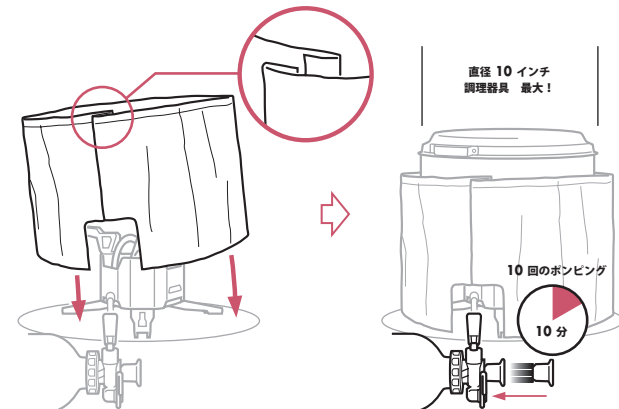


警告

ストーブが冷めきっていない状態で再点火すると、炎が大きくなり、やけどに至る可能性があります。ストーブが冷めきっていない状態で点火しないでください。再点火する前に、ストーブを 5 分間冷ましてください。アクセス可能な部品は、非常に熱くなることがあります。熱いストーブや燃焼しているストーブを移動しないでください。

6 調理目的でのストーブの使用

- ウィンドウスクリーンを、セットアップします。ウィンドウスクリーンの使用により、あらゆる条件下での性能を向上します。最適な性能を得るため、ウィンドウスクリーンとポットの間に、1 インチの隙間を残します。
- 燃料ボトルの圧力を維持します。10 分ごとに 10 回ポンプして性能を維持します。



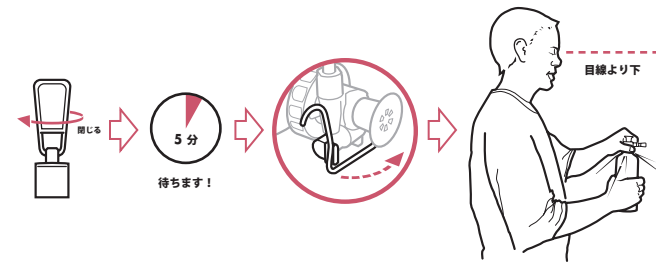
警告

過熱された燃料ボトルは爆発を起こし、やけどまたはけがに至る可能性があります。燃料ボトルをストーブバーナーなどの熱源に近づけないでください。ウィンドウスクリーンを使って、バーナーと燃料ボトルを離してください。大きな調理器具の使用は、過熱の原因になります。直径 10 インチ以上の調理器具を使用しないでください。空の鍋または乾いた鍋をストーブで使用しないでください。純正品以外の熱反射板またはデフューザーを使用しないでください。

7 ストーブの消火

- コントロールバルブを閉じます。ストーブは、パイプ内に残った燃料で、弱い炎で燃え続けます。
- 炎が消えた後、ストーブが冷めるまで 5 分間待ちます。
- キャッチアームのロックを外して、ポンプから燃料パイプを取り外します。
- ボトルを減圧してから、ストーブをしまします。燃料ボトルを顔や熱源、点火源から離し、直立させた状態で持ちます。ゆっくりとポンプのネジをゆるめて、燃料ボトルを減圧します。

燃料ボトルを運搬したり保管する場合は、減圧された燃料ボトルの中にポンプを入れて置くことが可能です。あるいはポンプを取り外して、代わりに燃料ボトルキャップを取り付けておくことも可能です。



警告

ストーブ燃料の保管には、細心の注意を払ってください。温水器、ストーブ、パイロットライト、ヒーター、および電気機器などの熱源や点火源の近くに、燃料ボトルを保管しないでください。燃料ボトルはしっかりと閉めた状態で、涼しく、十分な換気が行える場所に保管してください。

トラブルシューティング

問題:	原因:	処置:
燃料漏れ		
燃料ボトルの接続部	ポンプ シールの損傷または欠落	ポンプシールを交換する
ポンプと燃料パイプの接続部	燃料チューブ O リングの損傷または欠落	燃料チューブ O リングを交換する
コントロールバルブの柄部分	コントロールバルブ O リングの損傷または欠落	コントロールバルブ O リングを交換する
ポンプ フランジャー チェンバー内	チェック バルブの閉塞	チェック バルブのくぼみをクリーニングする
性能の問題:	原因:	処置:
異常な黄色い炎	プレヒートが適切でない	ストーブのプレヒートを繰り返す
ポンプしても燃料ボトルを圧力できない	ポンプカップの損傷	ポンプカップを交換する
フランジャーをポンプしにくい	ポンプ カップが乾いている	ポンプ カップに注油する
炎が弱い	燃料ボトルの圧力が低い	フランジャーをポンプする
沸騰時間が遅い	ジェットあるいは燃料パイプのつまり	ジェットをクリアし燃料パイプをクリーニングする
高地で炎が弱くなる	不適切な空気の流れ	ウィンドウ スクリーンを少し開く

燃料について

XGK EX™ ストーブは、2 種類の異なるジェットを使用して、数種類の燃料を使用することができます。
1. GK ジェットは、ホワイトガソリン、灯油、無鉛自動車用ガソリン、および航空ガソリンに使用します。 このジェットは、ストーブにあらかじめ取り付けられています。
2. X ジェットは、ジェット燃料、ディーゼル油に使用します。 このジェットは、ストーブの部品キットに含まれています。
 最適な性能を得るため、ホワイトガソリンを使用してください。お使いのストーブにとって最高品質の燃料です。
 MSR SuperFuel 以外の燃料を使用すると、ストーブがすぐに目詰まりするため、ジェットおよび燃料パイプを頻りにクリーニングする必要があります。海外旅行の際、現地でホワイトガソリンを入手する場合には、以下の燃料一覧表を参考にしてください。有鉛燃料は使用しないでください。

海外で市販される燃料の名称に関する詳しい情報については、www.MSRGEAR.com をご覧ください。

アメリカ合衆国/イギリス/カナダ	ドイツ/スイス	日本	フランス	オランダ	スペイン
White gas/ Naphtha	Kocherbenzin/ Reinbenzin	ホワイトガソリン	Pétrole à brûler/ Esence C	Wasbenzine	Bencina blanca
Kerosene	Petroleum Kerosin	灯油	Pétrole	Petroleum Lampolie	Parafina
Unleaded auto gas	Autobenzin	ガソリン	Esence sans plomb	Benzine	Gasolina sin plomo
Diesel	Diesel	ディーゼル	Diesel	Diesel	Diesel